

# 平成29年度事業報告

## 1. 概要

我が国は、世界に類を見ない超高齢社会が進行しており、少子高齢化の進展に伴い、将来に必要な労働力人口が減少することが懸念されています。

一方で、高年齢者の就業意欲は高く、労働力人口に占める高年齢者の割合や就業率は近年上昇を続けています。

高齢化、少子化が進む中、働く意欲のある高年齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし、年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっており、シルバー人材センターの役割も大きいものがあります。

このような状況の下、当センターは、地域社会の一員として、生きいきと働くと同時にボランティアなど様々な社会活動に参加することで、生涯現役社会を目指し、各事業に取り組んでまいりました。

平成29年度の事業実績においては、「契約金額」は公共事業及び民間事業とも前年度を下回ったものの、単年度収支で90万円余りの黒字となりました。

また、会員数においては、年度末で366名と前年度に比べ25名の減少となりました。

以下、平成29年度事業の概要について報告します。

## 2. 主な事業内容

### (1) 就業機会の提供

平成29年度の実績は、延2,742件で前年度に比べて39件の伸びとなりました。

また、就業実人員では344人の会員の方々が就業されました。

### (2) 会員の増強と普及啓発活動

広く市民、事業所等にセンターの活動や事業内容を周知するため、下記の活動を実施しました。

- ① ホームページのリニューアルを行い、スマートフォンに対応させるとともに、新たに「会員のページ」「Q&A」を掲載するなど機能・情報の充実を図りました。
- ② シルバーの日として、11月18日、19日に向日町競輪場で開催された「向日市まつり」に出展し、役員及び職員によるシルバー事業の普及啓発活動の一環として、会員募集並びに仕事の受注を行いました。

- ③ 11月23日には、「ボランティア清掃」として西向日駅周辺の清掃を行い、シルバー事業の普及啓発活動を実施しました。

### (3) 安全・適正就業の推進

事務所において「安全標語」を掲示すると共に、会員の方々が安全の意識を常に持ち、より一層安全就業の充実を図るため、安全委員が就業現場をパトロールし、事故防止に努めました。

また、適正で公平な就業を推進するため、一人でも多くの会員に就業の機会を提供できるよう未就業会員の解消に努めました。

### (4) 講習会、研修会の実施

- ① 高齢者活躍人材育成事業を京都府シルバー人材センター連合会と連携して、高齢者の雇用就業機会の確保を促進することを目的に、6月12日、14日から16日の4日間、「家事援助サービス講習会」を開催しました。
- ② 会員の日常生活や就業途中での交通事故の防止を目的として、3月9日に、向日町警察署員を講師に招き、「交通安全講習会」を実施しました。
- ③ 会員の接遇マナーの向上を目指して、3月15日に、(一社)日本マナーOJTインストラクター協会から講師を招き、「接遇マナー講習会」を実施しました。

### (5) 歳末おかたづけ応援隊事業の実施

11月中旬から12月下旬までの間、向日市社会福祉協議会と協力し、生活支援を必要とする高齢者世帯のニーズへの対応として、「歳末おかたづけ応援隊事業」を実施しました。

### (6) 組織体制の充実

- ① 京都府シルバー人材センター連合会や山城地域拠点シルバー人材センター連絡会等の研修・講習会に積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。
- ② 事務機器の更新やビジネスフォンの導入により、事務の効率化を図りました。
- ③ 除草、竹やぶの手入れを行う職群班を増設するなど、活発な職群班活動に努めました。また、シルバーの会報や就業募集チラシの配布など地域班の活用により就業開拓、就業支援に努めました。